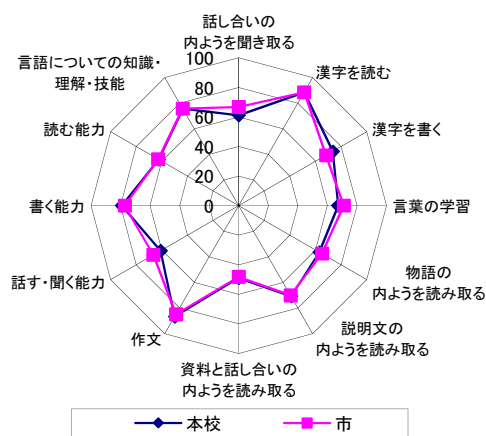


宇都宮市立西原小学校 第5学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	61.1	66.6
	漢字を読む	88.5	88.4
	漢字を書く	73.4	68.2
	言葉の学習	67.2	71.0
	物語の内ようを読み取る	63.0	64.9
	説明文の内ようを読み取る	70.8	70.1
	資料と話し合いの内ようを読み取る	49.0	48.3
	作文	86.7	84.9
観点別	話す・聞く能力	61.1	66.6
	書く能力	79.2	77.1
	読む能力	62.5	63.0
	言語についての知識・理解・技能	75.7	75.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・話し手の工夫を考えながら、話の内容を聞きとる問題で誤答が目立った。	・言語活動の充実を図り、自分の考えを的確に話すことや話しての意図をつかみながら聞くことができるようにする指導をより一層重視しながら、さらに個に応じた指導を充実させていくようにする。 ・話し手がどのような工夫をして発表していたかを意識させながら聞くことができるように指導する。
漢字	・「漢字を読む」の正答率は、市の平均とほぼ同等の正答率になった。 ・「漢字を書く」の正答率は、市の平均より上回っている。	・今後も新出漢字だけでなく、学年を遡って復習する機会を意図的に設け、定着を図るようにする。 ・他教科や日常生活において、常に習った漢字を意識して使うように指導し、定着を図るようにする。
言葉の学習	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・ことわざの使い方の正答率は、市の平均正答率より高い結果であった。 ・漢字の成り立ちを問われる設問での誤答が目立った。	・新出漢字の学習時に、漢字の成り立ちについても触れながら指導する。 ・フォローアップ問題を利用して、学習内容の定着を図るようにする。 ・今後も国語や他教科において言語活動の充実を図るとともに、日常生活においても、正しい言葉の使い方を指導していくようにする。
物語の内ようを読み取る	・平均正答率は、市の平均を下回っている。 ・登場人物の様子を読み取ることはできていたが、場面の状況を読み取る問題に誤答が目立った。	・朝の読書や読み聞かせ、学校図書館の利用などを通して、優れた文学作品を読む楽しさを味わえるようにする。 ・場面ごとに書かれている内容をまとめ、絵や図で表しながら、場面の状況を把握できるように指導する。
説明文の内ようを読み取る	・平均正答率は、市の平均とほぼ同等の正答率になった。 ・文章の内容を的確に読み取る問題はできていたが、文章の構成をとらえながら読み取る問題で誤答が目立った。	・文章の構成に気を付けながら、筆者の伝えたい内容を意識しながら読むように指導する。 ・国語だけに限らず、社会科や理科など他教科においても言語活動の充実を図り、読解力を高めるような指導を充実させていく。 ・朝の読書や読み聞かせ、学校図書館の利用などを通して、様々な分野の本と触れ合えるようにする。
資料と話し合いの内ようを読み取る	・平均正答率は、市の平均とほぼ同等の正答率になった。 ・与えられた資料から求められている情報を的確に取り出す問題はできていたが、話し合いの内容から考える問題での誤答が目立った。	・国語だけに限らず、社会科など他教科においても資料を活用した学習の充実を図る。 ・与えられた資料の効果や意図、また、資料から読み取れることを考える時間を意図的に設け、思考が深められるように指導していく。
作文	・平均正答率は、市の平均より上回っている。 ・指定された長さで文章を書くことや自分の意見と理由を書くことができた児童が多かった。 ・二段落構成で文章を書くことには、誤答も見られた。	・意見文や感想文を書く時間を意図的に設け、作文用紙の使い方について確認する。 ・構成メモを利用するなどして、作文の構成に気を付けながら、文章が書けるように指導する。